

平成31年3月28日

公立大学法人前橋工科大学
理事長 宮 下 雅 夫 様

内部監査チーム	猪 俣 理 恵
同	荻 野 智 啓
同	谷 嶋 和 博
同	清 水 由 紀
同	新 部 智 之

監 査 報 告 書
【不正防止計画に基づく監査】

公立大学法人前橋工科大学における公的研究費等の不正使用の防止に関する規程（平成25年規程第117号）第9条、公立大学法人前橋工科大学における公的研究費等に関する不正防止計画（平成25年4月1日制定）により内部監査を実施したので、下記のとおり報告します。

記

1 監査の実施期日

平成31年2月6日（水）～平成31年2月12日（火）

2 監査の対象学科及び対象者

対象学科については、概ね3年程度で全学科に対し内部監査が行われるようにするため、平成30年度は建築学科とシステム生体工学科の2学科を選定した。

対象者については、公的研究費等のうち、教育奨励寄附金、共同研究費、受託研究費により研究を行っている研究を行っている4名および国（JST）等の競争的外部資金により研究を行っている3名の、以下計7名を選定した。

建築学科 : 准教授
建築学科 : 准教授
システム生体工学科 : 教授
システム生体工学科 : 准教授
建築学科 : 准教授
システム生体工学科 : 准教授
生物工学科 : 准教授

3 監査方法の概要

次の3項目について、一定数を抽出し、「平成30年度 研究費関係監査チェックリスト」に基づき、3時間30分（30分×7名）程度の現場実査を行った。

(1) 物品関係：換金性・汎用性の高い電気機器類（パソコン・タブレット等）の

現物の有無、使用の有無等の確認。

(2) 旅費関係：研修旅行等の目的及び概要を抜き打ちで聴取。

(3) 人件費関係：特別研究員等の勤務実態について、当該教員（または特別研究員本人）より聴取。

4 監査結果の概要

公的研究費等の執行は次のとおり適切に行われていると認める。

(1) 物品関係：抽出した物品については、すべて現物を確認し、また、研究目的のために購入していることを確認した。

(2) 旅費関係：旅行報告書について、報告書には、旅行の事実が確認できる資料（学会参加などのプログラム・学会参加証・打合せ記録の原本又は写し、写真など）を添付のうえ、事務局に提出されているが、教員においてもそれらの資料が保存されていることを聴取した。

(3) 人件費関係：研究補助員について、研究内容に沿った研究補助業務に従事していることを聴取した。

5 是正又は改善を要する事項

特になし。

6 その他必要と認める事項

(1) 研究補助員について、作業日誌等により職務の日時や内容を管理・保存されていることを確認したが、一部の教員においては、より詳細に職務内容等を記載することが望まれる。